

第3回定例会一般質問要旨

NO.1

順位	質問議員名	発言要旨	答弁を求める者
1	武藤 勝圀	防災対策について	町長
<p>この7月、平成30年西日本豪雨災害が発生し、大きな被害が出ました。改めて自然災害への備えが問われており、防災に強い町づくりは豪雨災害の教訓であり、本町の防災対策を問直す機会となっており、その観点から5点伺います。</p> <p>①平成28年第2回定例会では、平成28年度に土石流危険渓流箇所7箇所、急傾斜地崩壊危険箇所7箇所の基礎調査を終え、平成31年度までに残り31箇所の基礎調査を完了する予定との報告であったが、その後の進捗状況を伺う。</p> <p>②現在、土砂災害危険区域に居住している人数・戸数はいくらか。</p> <p>③土砂災害に関するハザードマップの完成は、調査終了後と解してよろしいか。</p> <p>④現時点での自主防災組織の組織率はいくらで、活動状況を伺う。また、地域防災マスターについての2年前の答弁では認定者0との報告だったが、振興局のホームページでは本町の認定者は14名と報告されている。認定者の活用状況と今後の育成計画について伺う。</p> <p>⑤最近の災害の教訓として、逃げない人をどう避難させるかが大事と思う。最終的には個人の責任にしても、助かる命をどう助けるか、そこに行政としてどう関わられるのかは検討課題と思うが、現時点での検討状況を伺う。</p>			
2	武藤 勝圀	JR日高線の復旧に向けた取組み等について	町長
<p>政府は7月、JR北海道に対して2年間で400億円台の財政支援をするとしたが、日高線にはバス転換をせまっている。今年、北海道は命名150年を迎えた。鉄道の果たしてきた役割を検証し、日高線は将来に残していくべき貴重な財産と思うが、見解を伺う。</p>			
3	竹中 進一	台風21号と胆振東部地震による被害の状況と復興への取組みは	町長
<p>直ちに「災害対策本部」を立ち上げ、被害状況の把握と対策を講じたと思うが、国や道農協など関係機関との連携等によって被災された方々にどのような支援を考えているか。</p> <p>①台風によって一部地域のハウスが倒壊したが、過去にも同じ被害を受けている。再建にあたっての考えは。</p> <p>②地震による停電で、自家発電装置のない酪農家は乳牛の搾乳ができず、また、ようやく搾った牛乳も受け入れが滞るなど、やむを得ず廃棄処分せざるを得ない状況となり、乳房炎などにもかかったと思うが損失に対する救済は。</p> <p>③ピーマンも選果場が稼働せず、出荷停止したことにより収穫適期を過ぎたために商品価値が低下し、農家の収入に影響を与えたことに対する考えは。</p> <p>④町内施設の被害調査と調査結果に基づく対策は。</p>			
4	但野 裕之	タイムラインについて	町長
<p>台風21号の被災に備え初期行動を起こしているが、西日本豪雨で甚大な被害を受け、様々な課題が浮き彫りにされた。その一つにタイムラインの活用がある。</p> <p>台風や豪雨による大規模水害に備えるため、自治体などが事前に取り組むべき対応を時系列でまとめたタイムラインの導入が各地で広がっているが、当町の現状は。</p>			